

令和3年度 第2回 都田南小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和3年 6月17日（木） 15時30分から17時30分まで
- 2 開催場所 都田南小学校 会議室
- 3 出席委員 馬淵 信夫、長谷川 卓人、牧田 景子、石田 由紀子
- 4 その他出席者 宮原氏（アプリ制作関係者）
- 5 欠席委員 神間 智博、山下 泰弘
- 6 事務局 山下 幹夫、大石智香子、大軒麻奈代、谷野文彦、服部美保
- 7 オブザーバー 鳴門教育大学教職大学院教授 久我氏、教育総務課 堀田氏、都田協働センター 野中氏、鳴門教育大学教職大学院生 鈴木郁夫氏
- 8 傍聴者 0人
- 9 協議事項
 - (1) CS活動報告
 - (2) アプリについて
 - (3) 地域との連携について
 - (4) 承認
- 10 その他
 - (1) 校内教育活動について
 - (2) 夢育活動について
- 11 会議録作成者 事務局 服部美保
- 12 会議記録
 - (1) CS活動報告

学校支援コーディネーターである牧田委員から、別紙資料により活動報告があり、以下の発言があった。

 - ・外国語のボランティアさんが活動する際には、教室まで案内するなど牧田委員の配慮が感じられて感謝している。また、先日募集した校外学習ボランティアでは、保護者以外の方も興味を持ってくださり、地域参加のコミュニティスクールの第一歩になっていくのではないかと思います。（教頭）
 - ・今年度は各学年の課題を集約し、学校の要望を形にできたら嬉しい。牧田委員とより意見交換をしていきたい。（谷野教諭）
 - ・先日の校外学習では、3年生の先生がとても助かったと聞いている。ボランティアさんに感想を聞いたら、来て良かったという声が多かった。これからもっと地域の人が集まる場になると良いと思う。（鈴木氏）
 - ・このような活動は見えにくいですが、先生方の働き方改革の大きな力になる。先生は次の日の授業の準備が9割できないと言われている。これからもっと地域の力を活かしていけると良い。そして、この活動を永く続けるためには、役に立てて嬉しいなと感じるシステムを考えることも必要。（ポイントを作るなど、心のお土産）アプリにも期待している。（久我氏）

- ・浜松市の人材バンクは活用できるか。(校長)
- ・浜松市の人材バンクには、何百人もの登録がある。主に講師としてまとめてリスト化しているので、どういことを教えてほしい等具体化できれば、こちらでマッチング作業をしたあと、直接交渉していくという流れになる。(野中氏)
- ・牧田さん、CS活動ありがとうございます。CSだよりもボランティアさんの活動の声を載せると良いと思う。それと、学校内の花壇の整備もボランティアがいると良いなと思う。(石田委員)
- ・読み聞かせボランティアについて、もう少し人数が多い方が良いのでは。(石田委員)
- ・読み聞かせボランティアは単独で組織化しているため、どこまで踏み込んで良いのかわからない。(牧田委員)
- ・読み聞かせボランティアだけでなく、見守り隊も含めオールインワン組織にして、学校運営協議会が統括すると良いのでは。(久我氏)
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、読み聞かせが中止になっている。代わりに6年生が下級生に読み聞かせをしてあげるのはどうか。(牧田委員)
- ・図書委員など、子供たちの中から意見が出てくると良いかなと考えている。園芸活動も委員会の中でできると良いと思う。(教頭)

(2) アプリについて

議長の指示により、長谷川委員と宮原氏からボランティア登録アプリについての説明があり、現在順調に準備を進めていることを確認した。

(3) 地域との連携について

議長により、地域との連携について何かできることはあるか委員に意見を求めた。委員からは、以下の発言があった。

- ・都南っ子まつりについて、学校運営協議会として何か参加したい。(牧田委員)
- ・良いと思う。(長谷川委員)
- ・PTA役員に参加希望の旨を伝えたい。(校長)
- ・今年中に、地元の歴史を冊子にした「満州魂」を1200部発行する予定。(馬淵委員)
- ・この冊子の発行にあたっては、白昭の自治会の方々が地域を廻り寄付金を集めて広告代にしたと聞いている。都田図書館ではこの資料を使って地域を知る講座を開催する予定。自治会と学校運営協議会とでコラボレーションできることを期待する。(校長)

その他

(1) 校内教育活動について

生徒指導担当大軒教諭より、校内教育活動について説明があった。

- ・全体として落ち着いて生活できている印象。多くの児童と会話をするが、話の端々に家庭で子供を励まし背中を押してくれていることが伝わる。とてもありがたい。
- ・今年度は生活のめあての決定の仕方を大きく変えた。委員会ごとに担当する月を決め、自分たちが自分の生活を見つめ直し、決定するという仕組みにした。今月は園芸

委員会が担当で「学校の植物を知ろう」というめあてに自分たちで決めた。そのめあてを基に各クラスではクロームブックを使って写真を撮ったり、花言葉を調べたりする取り組みをする学級もある。学級の雰囲気が変わりほっとする。

- ・指導で徹底していることは、校内では名札を付けることと、靴箱傘立ては自分できれいにするということ。靴のかかとを揃えると心が整うよと声掛けをしている。

- ・学校生活の中ではトラブルも生じる。小さなことでも多くの目（複数の教員）で見られるようにしている。生活アンケートでも少しの不安の声を大切に、そして声を掛けることを担任とも話している。最近ではオンライン等のネットトラブルもあるが、子供の立場に立って助言いただける地域の声を大切にこれからも頑張っていく。

（２） 夢育活動について

教頭から、別紙資料に基づき、やらまいか教育推進事業実施計画について説明があった。

その他報告事項等

司会から、次回会議は2021年9月16日（木）午後3時30分から会議室で開催する旨の報告があった。